

試験の受け方

試験開始直後

- ①氏名・受験番号(マーク)をまず先に記入・確認する。
- ②最初の5～10分間で問題100問を見渡し、見たことがあるものや簡単に解けそうな問題に印を付けておく。

試験中①

①問題番号1番から解答していくが、つまってしまった場合は先ほど印を付けた問題にジャンプして確実に解ける問題を先に済ませていく。

→精神的緊張をほぐすことができる！

②できればマーキングは、最後に一括ではなくその都度行う。

→最後にあせってずれてしまうと水の泡！

③各問題のチェック方法は、設問番号に印を付けるのではなく、本文に下線や訂正線を入れ、○×を入れた方が後の見直し時にミスを防ぐことができる。

なお、選択肢にはわかりやすいように印を付けておく。

試験中②

④問題文の「正しいのは～」「誤っているのは～」
「2つ」には下線を入れてから設問を読むように
心がける。

⑤各問題はまずすべての選択肢に目を通し、明
らかに正しいものに○、誤っているものに×、
迷うものには△をつけ、すぐに解答をマーキン
グする。迷うものが複数ある場合は問題に印を
付け後回しにして次に進む。

解答例

問題64 パラフィン浴について誤っているものを2つ選べ。

1. 皮膚に開放創がある場合でも適応となる。×
2. パラフィン被膜に亀裂が生じたときは、はがして最初からやり直す。○
3. パラフィン槽に患部を浸すとき、2回目は初回のレベルよりも近位部まで浸す。×
4. パラフィン浴の温度は51～54℃である。△
5. パラフィンは火気に近付けないようにする。○

Ans: 1. 3

試験後半

- ①見直しでは、問題番号1番から先ほどつけた印をもとに落ち着いて**問題用紙とマークの確認**をする。
- ②**最後にもう一度氏名と受験番号を確認**する。

試験終了後の作業（＊模試）

①間違えたところの見直し

②不適切問題の指摘

③苦手問題の抽出